

USB3.0+eSATA 2SATA HDD はい〜る Kit RAID Data Saver セットアップガイド

NV-HS222U3S

ご使用になる前に必ずお読みください。

この度は弊社製品をご購入頂き、誠にありがとうございます。

製品を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ず本紙をよくお読みの上、ご利用ください。

なお、本製品をご使用にあたって本紙に記載の内容を理解し、記載した内容について承諾したものとみなします。

同梱物の確認

最初にパッケージの中にすべてのものが含まれているかどうかをご確認ください。

- はい〜る KIT 本体 1台
- USB3.0 対応ケーブル 1本
- eSATA ケーブル 1本
- AC アダプタ 1個
 - ※付属の AC アダプタは、本製品専用です。
- HDD 固定用ネジ 4本
- セットアップガイド(本紙) / RAID 設定ガイド 各1枚
- 保証書

万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。なお、箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

セットアップガイドの注意事項

本セットアップガイド（本紙）での注意事項

1. 本紙の内容につきましては予告なしに変更する場合があります。
2. 本紙の内容につきましては万全を期して作成いたしますが、万が一誤りまたはお気づきの点がございましたら、弊社宛ご連絡くださいますようお願いいたします。
3. 本紙の内容に沿って設置・運用した結果については、上記にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

※ Windows は米国 Microsoft 社の商標または登録商標です。

※ その他、本紙に記載されている会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※ 本紙は「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されています。

※ 本紙の一部または全部について、株式会社ノバックから文書による許諾を得ずに無断で転載または複写（コピー）することは、著作権等の権利侵害となる場合がありますのでご注意ください。

安全に正しくお使いになるために

本製品を安全に使っていただき、あなたや他の人々、あるいは財産への損害を未然に防止するため、下記注意事項を本紙に従って正しく安全に使用してください。

----- 警告・注意 -----

けがの恐れがあります。

- 落下、不用意な接触などに十分注意してください。製品には尖った部分があります。

- 足など体の部分の上に落下させ、あるいは不用意にぶつけるなどすると、けがの原因となります。不安定な場所には置かないでください。特に乳幼児・児童の近くでご使用になる場合は、厳密に管理してください。
- コネクタなどの接続には十分注意してください。
- ドライブ本体とインタフェースケーブルなどの接続部、コネクタ部などには鋭利な金属部分があります。装着時の不用意なけがなどには十分注意してください。
- ケーブルの巻き付けなどにご注意ください。乳幼児・愛玩動物の首などにケーブル類が巻き付くと、死亡など重大事故の恐れがあります。厳密に管理してください。

火災の恐れがあります。

- 直射日光のあたる場所、強磁界、強電界の場所で保管やご使用にならないでください。火災の恐れがあります。

感電・けが・失明の恐れがあります。

- 落下などにより損傷した場合、また、移動などに際しケーブルの傷がついた場合などは、すみやかに使用を中止してください。また、破損部分や内部には手など触れないようにしてください。
- 分解/組み立て時はご注意ください。内部に不用意に触れると、けが、感電などの恐れがあります。
- 湿気やほこりの多い所、水中などで使用しないでください。感電などの恐れがあります。

幼児が飲み込む恐れがあります。

- 付属部品などには、乳幼児の口に入る小さな部分があります。乳幼児の手の届かない所に保管してください。

発熱による不具合

- 高速回転型のハードディスクによっては、非常に発熱性の高いものがあり、予想以上の高熱になる場合がございますのでご注意ください。その場合は、ハードディスクのご利用を停止して頂きますようお願いいたします。

その他の注意事項

- ケース内はファンの空気の流れにより、ホコリや塵が堆積し、発火、故障などの原因となることがありますので、定期的な清掃を行ってください。
- 本製品の保証は、本製品のみとなります。接続された機器(ハードディスクを含む)や、ハードディスクに記録された内容等は、故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。万が一に備え、大切なデータ等は、本製品の使用前、使用中は、必ずお客様の責任の下、バックアップされるようお願いいたします。

パソコンの動作環境と本体の仕様について

パソコンの動作環境

対応パソコン	USB2.0 または USB3.0 インタフェース、または ポートマルチブライヤ対応の eSATA インタフェース搭載(※)の Windows パソコン
対応 OS	Windows XP SP-3 / Vista / Windows 7 ※Server 系 OS は動作保証の対象外

※ 上記動作環境を満たしていても、すべての環境において動作を保証するものではありません。

※ ポートマルチブライヤに対応していない eSATA インタフェース搭載のパソコンでは、eSATA 接続でのご利用はできません。

はい〜る Kit 本体の仕様

本体サイズ	118×170×192 mm（突起部を除く）
重量	約 1.0Kg
インタフェース(注1)	USB3.0 (5Gbps) (注2,3) / eSATA (3Gbps)
電源(AC アダプタ)	入力 AC 100~240V / 出力 12V 3A (注2)
対応ハードディスク	3.5" SATA ハードディスク (省電力モデルのハードディスクを推奨) (注3,4,5,6,)
HDD モード	ノーマル、RAID-0、RAID-1、JBOD
使用 温度,湿度範囲	温度; 5~40 度/ 湿度; 20~80% 結露なきこと
電源連動機能(注7)	PC シャットダウン時、ハードディスクおよびファンの回転を停止。 ※本体の電源は OFF になりません。

注1. USB と eSATA を同時に使用することはできません。
注2. 搭載した 2 台のハードディスクの合計の消費電力が、上記の規格を超える場合は正常に動作しませんのでご注意ください。

注3. 1 台当たりの最大容量は 3TB までとなります。ただし、2TB の容量を超えるハードディスク、または、RAID-0、JBOD モードで 2 台合計の容量が 2TB を超える場合、ご利用の OS およびシステム環境が 2TB を超える容量のハードディスクの利用に対応していることが必須となります。

注4. GPT ディスクへ変換したハードディスクは、Windows の制限上 GPT ディスクに対応していない OS システム環境、およびソフトウェアでは利用できません。

注5. SSD は正しく動作しない場合があるため、動作保証ならびに相性保証の対象外となります。

注6. RAID-0 および RAID-1 構成時は同じ仕様のハードディスクを揃えてご利用ください。

注7. PC 連動機能は、パソコンからの信号を検知し動作しますが、一部のパソコン環境では、電源連動機能をご利用いただけない場合があります。また、待機電力として常時電力を消費します。長時間使用しない時は、本製品本体の電源スイッチを OFF にしてください。

本体各部の名称



1. Power LED; 主電源が ON の状態(電源連動待機中を含む)に点灯します。
2. SATA LED; HDD を搭載した箇所が点灯し、アクセス中は点滅します。
3. HDD カバー; HDD を装着し、本体に固定します。
4. 電源コネクタ; 本製品に付属の AC アダプタを接続します。
5. SYS RST ; RAID SW にて RAID モードを変更した場合に、電源を ON にした後 5 秒以上押すことでモードが切り替わります。

※注) SYS RST ボタンは、RAID モードを変更するとき以外は絶対に押さないでください。誤って押すと保存されているデータが消失します。

6. FAN コントローラ; FAN コントローラボリュームを回しファンの回転の

の強弱を調整します。

7. USB コネクタ; 付属の USB ケーブルを使用し、パソコンと接続します。
8. RAID SW; ノーマル、RAID-0、RAID-1、JBOD の各モードを設定します。(別紙「RAID 設定ガイド」にて解説)
9. 電源スイッチ; 本体の電源の ON/OFF を行います。
(※電源連動機能はハードディスクおよびファンの回転が停止し、主電源は OFF にはなりません。)
- 10.eSATA コネクタ; 付属の eSATA ケーブルを使用し、ポートマルチブライヤ対応 eSATA インタフェースを搭載したパソコンと接続します。

ハードディスクの組み付け

※ 感電や故障、または破損の原因となりますので、本製品へのハードディスクの組み付けや、取り外すなどの作業を行う前に、必ず本製品の電源を切り、電源(AC アダプタ)を抜いてから作業を行ってください。

※ ハードディスクを 2 台実装しない場合、必ず HDD-1 から順番に、ハードディスクを取り付けてください。

	1. ハードディスクカバーのロックを解除し、ハードディスクカバーを取り出します。
	2. ハードディスクカバーに、ハードディスクを付属のネジで固定します。
	3. ハードディスクを本体に装着します。ハードディスクは上から順に搭載してください。
	4. ハードディスクカバーをロックします。
	5. ハードディスクを本体に組み付けが終わりましたら、RAID スイッチにて使用するモードを設定します。詳しくは別紙「RAID 設定ガイド」をよくお読みの上、ご利用の用途に合わせた設定を行ってください。

パソコンとの接続とドライバのインストール

本製品をパソコンに接続する方法について説明します。

- パソコンの電源を入れてください。
- 付属の電源ケーブルで本製品の電源入力と家庭用の電源コンセントと接続してください。
- 前面の「電源スイッチ」を“ON”にし、本製品に電源を供給してください。
- 「Power LED」が点灯することを確認してください。

■ USB でパソコンと接続する

Windows が起動してから付属の USB ケーブルを使って、本製品とパソコンを接続します。

接続後、自動的に「USB 大容量記憶装置デバイス」としてインストールされます。

■ eSATA でパソコンと接続する

Windows が起動してから、付属の eSATA ケーブルを使って、本製品とパソコン側のポートマルチプライヤ対応の eSATA ポートへ接続します。

接続後、自動的に認識されます。

接続を確認する

「マイコンピュータ」を開き、ドライブ表示が追加されていることを確認します。

認識が正しく行われると、次のようドライブが追加表示されます。(※注)

-  **(Windows Vista / 7 の場合)**
-  **(Windows XP の場合)**

(※注)

取り付けたハードディスクが新品、または未フォーマット、および JBOD、RAID-0/RAID-1 を構築した場合は、上記アイコンは表示されませんので、必ずハードディスクの“初期化”の作業が必要となります。

詳しくは、下記 WEB にてご案内しておりますので、参照の上 “初期化” を行ってください。

● Windows XP をご利用の場合

URL: <http://www.driver.novac.co.jp/driver/faq/format.html>

● Windows Vista / Windows 7 をご利用の場合

URL: http://www.driver.novac.co.jp/driver/faq/format_vista.html


※ 万が一、まだお使いいただけない状態の場合は、もう一度今までの手順を再度確認してみてください。

パソコンからの取り外し

■ USB 接続の場合の取り外し

USB ケーブルをパソコンから取り外す前に、ハードディスクドライブ内のデータの読み出し、書き込み作業をすべて終了してください。

● Windows Vista / Windows 7 の場合


- タスクトレイの「ハードウェア取り外し」アイコン  をクリックします。
- 「USB 大容量記憶装置デバイス (D :) を安全に取り外します」をクリ

ックします。

※ (D :)の部分は、ドライブの接続先によって表示が異なります。

- 「ハードウェアの取り外し」が表示されたら、USB ケーブルを取り外します。

● Windows XP の場合

- タスクトレイの「ハードウェア取り外し」アイコン  をクリックします。
 - 「USB 大容量記憶装置デバイス (D :) を安全に取り外します」をクリックします。
- ※ (D :)の部分は、ドライブの接続先によって表示が異なります。
- 「ハードウェアの取り外し」が表示されたら、USB ケーブルを取り外します。

■ eSATA 接続の場合の取り外し

eSATA 接続の場合は、パソコン側 eSATA インタフェースの仕様に準じます。ご利用のパソコンのマニュアル、または、インタフェース カードのマニュアルを参照し、取り外しを行ってください。

困ったときの FAQ

Q1. パソコン以外に録画機能を搭載したテレビ、ネットワークドライブなど、他の機器で使用できますか？

A1. パソコン以外の機器での動作は動作保証の対象外となります。

Q2. eSATA でパソコンに接続したのですが、ハードディスクを 1 台しか認識しない。

A2. パソコンの eSATA インタフェースが、ポートマルチプライヤに対応していないものと考えられます。パソコン本体の eSATA インタフェースの仕様をご確認ください。

Q3. BIOS 機能を搭載した eSATA インタフェースに接続したのですが、その BIOS 上から、ハードディスクを 1 台しか認識しない。

A3. eSATA インタフェースカードの仕様になります。ポートマルチプライヤ対応のインタフェースカードであっても、BIOS 上からは 1 つの eSATA ポートあたり、1 台のハードディスクしか認識することはできません。

Q4. はい～ Kit に搭載したハードディスクへ、OS のインストールはできますか？

A4. 本製品へ搭載したハードディスクへの OS のインストールはできません。

Q5. USB 接続でパソコンの電源を OFF にしても、電源連動機能が機能しない。USB ケーブルを抜くと電源連動機能が働き、ハードディスクの回転が止まる。

A5. 電源連動はこのバスパワーや信号を検知してハードディスクの電源を ON/OFF します。

一部のパソコンでは、パソコンのシャットダウン後も USB ポートにバスパワーや信号を流し続けているものがあります。そのため、パソコンをシャットダウンしてもハードディスクの電源が切れない場合がありますので、その場合は、USB ケーブルを抜くか、本体の電源スイッチを切ってご利用ください。

アフターサービスについて

● 修理をお申込の場合は

保証期間中は、無償にて修理いたします。ただし、本紙「購入後の保証について」に記載した内容に該当する場合は、有償修理となります。

保証期間が終了した場合は、有償にて修理いたします。

※ 弊社が販売を終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。予めご了承ください。

● 修理品の依頼について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を用意ください。

- 1. 本製品の保証書**
 - ※ ただし、保証期間を終了した場合は必要ありません。
 - ※ 保証期間内であっても保証書の添付がない場合は、有償修理扱いとなります。
- 2. 下記内容を記載したメモ**
 - ※ ご返送先（住所/氏名/電話番号）
 - ※ ご連絡先メールアドレス
 - ※ ご使用環境（パソコンの機器構成、OS）、故障状況（どうなったのか）

3. 修理品を梱包してください

※ 上記でご用意いただいた物と一緒に梱包してください。
※ 輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱、梱包材等で梱包してください。

● 修理の依頼先について

修理のご依頼の際は、購入店へお持ち込みください。

また、修理を直接弊社にお送りいただく場合は、下記送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として、送付いただく際の発送時の費用は初期不良（購入後 1 ヶ月以内を除き、お客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

※ 送付の際は、紛失を避けるため、宅配便か、書留郵便小包でお送りください。

【送付先】	〒113-0033 東京都文京区本郷 3-43-16 成田ビル 3F 株式会社 ノバック ユーザーサポート 宛 ☎ 03-3817-8711
--------------	--

サポート窓口について

本製品に対するお問い合わせは、下記へお願いいたします。

住所	： 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-43-16 成田ビル 3F
株式会社ノバック サポートセンター	
サポート専用電話	： (03)3817-0938
受付時間	： 月曜～金曜（祝祭日、および弊社休業日は除く） AM10:00～PM12:00 PM1:00～PM5:00
URL	； http://www.novac.co.jp

※ お問い合わせの前に、まずこのセットアップガイドの「困ったとき FAQ」をもう一度ご覧になってください。

※ お問い合わせの際には、お使いになっているパソコンの機種名/環境、不具合状況などを詳しくお教えてください。

購入後の製品保証について

保証期間内(製品の使用の有無にかかわらず、ご購入日より 1 年間)に、日本国内で正常な使用状態でご使用の場合に限り、品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。

- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - ① 保証書をご提示いただけない場合。
 - ② 保証書の所定の項目が未記入、または、購入年月日等の書き換え、または訂正された場合。
 - ③ 日本国外での使用による故障。(海外での電源変圧器の使用を含む)
 - ④ 故障の原因が取扱上の不注意による場合。
 - ⑤ 動作保証を行っていない機器への接続や誤ったケーブル、専用品以外の部品等の使用に起因する場合。
 - ⑥ 故障原因が接続本製品以外の機器に起因する場合。
 - ⑦ お客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - ⑧ お客様の故意過失による破損。
 - ⑨ 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損害。
 - ⑩ 中古品・オークション等個人売買により取得された場合。

※ 免責事項

- 本紙の記載内容を守らないことにより生じた損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の保証は、本製品のみとなります。接続された機器(ハードディスクを含む)や、ハードディスクに記録された内容等は、故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- お客様ご自身の故意による分解・破損・改造、または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の障害、金銭的損害については、弊社は一切責任を負いません。
- 地震、雷、当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 弊社製品は将来発表されるハードウェア(ハードディスクを含む)・ソフトウェア (OS を含む) との互換性および動作を保証するものではありません。
- 製品の販売終了後、一定期間の経過、もしくは修理・保守部品等の在庫切れ等により、予告なく修理対応を終了させていただく場合がございますので予めご了承ください。

2SATA HDD はい～ Kit RAID Data Saver

セットアップガイド

発行日： 第 1 版 2011 年 12 月

発行元： 株式会社ノバック

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-43-16

成田ビル 3F

NV-HS222U3SJO

USB3.0+eSATA

2SATA HDD はい〜 Kit RAID Data Saver

RAID 設定ガイド

NV-HS222U3S

設定を行う前に必ずお読みください。

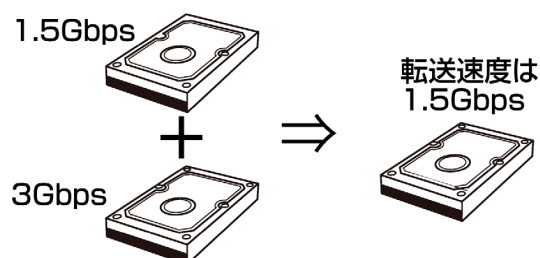
本製品はハードウェア RAID、JBOD 機能を搭載したハードディスクケースです。ここでは、RAID スイッチの各モードについての説明をしております。

ご利用の前に必ずお読みの上、用途に合わせた設定を行ってください。

RAID-0、RAID1、および JBOD 構築時のご注意

1. RAID-0、RAID-1、および JBOD モードを構築する場合、極力同じ仕様(同じ型番)のハードディスクをご用意ください。異なる仕様のハードディスクで構築された場合、正しく機能しない場合があります、その場合の動作保証はいたしかねますので、予めご了承ください。
2. 本製品は SATA- I / II / III (1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps) のハードディスクを混在して RAID-0、RAID-1、JBOD 機能を利用することは可能ですが、転送速度の上限は、最も遅い方のハードディスクが基準となりますので、混在させてのご利用は推奨できません。またその場合の動作保証はいたしかねますので、予めご了承ください。

例) 1.5Gbpsと3GbpsのHDDを組み合わせた場合

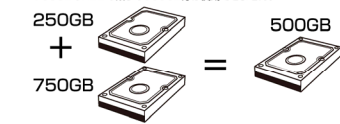


3. 異なる容量のハードディスクで RAID-0、および RAID-1 を構築された場合、ご利用いただける容量は、最も小さいハードディスクを基準に構築されます。

異なる容量のHDDで RAID-0 を構築した場合

例) 250GBと750GBのHDDを組合せ、構築した場合 250GBのHDDを基準に構築され、500GBのHDDとなります。

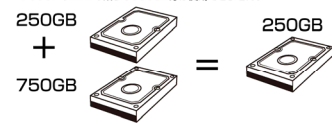
※ 750GBのHDDの残りの500GB分は使用できません。



異なる容量のHDDで RAID-1 を構築した場合

例) 250GBと750GBのHDDを組合せ、構築した場合 250GBのHDDを基準に構築され、250GBのHDDとなります。

※ 750GBのHDDの残りの500GB分は使用できません。



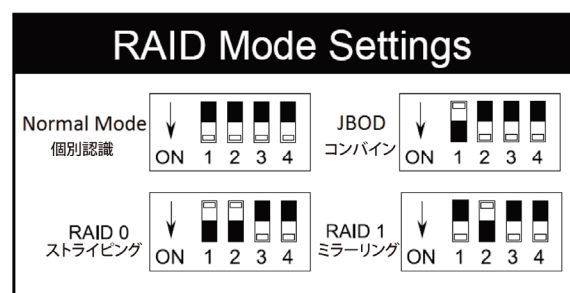
4. RAID-0、RAID-1、JBOD を使用する場合、ハードディスクに記録(保存)されているデータはすべて消去されます。データが必要な場合は、事前にバックアップを取ってから各モードの設定を行ってください。
5. RAID-0、RAID-1、JBOD を構築後は、ハードディスクの取り付け位置を変更してのご利用はできません。
6. Normal、モードを含め 2TB 以上の領域を使用する場合は、ご利用の OS およびシステム環境が 2TB を超える容量のハードディスクの利用に対応していることが必須となり、GPT ディスクへの変換が必要になります。
7. 本体 SYS RST(リセット)ボタンは、各モードの変更するとき以外は、絶対に押さないでください。誤って押してしまうと、リセットがかかりデータが消失してしまい、データを復旧することができなくなります。

その他 使用上のご注意

1. 本製品の仕様・外觀等は改良のため予告なく変更になる場合がございます。機器の修理を行った場合や、仕様の変更に伴い現在ご使用の RAID-0、RAID-1、および JBOD モードをそのまま引き継いでご利用いただけなくなる場合があります、その場合の保存されているデータについての保証はいたしかねます。ハードディスク内に保存されているデータ類につきましては、お客様の責任の下、定期的なバックアップを行っていただきますようお願いいたします。
2. 本製品に OS をインストールし、起動ドライブとしてのご利用いただくことはできません。OS のインストールは絶対に行わないようにしてください。
3. Normal(ノーマル)モードに限り、本製品に搭載したハードディスクを交換しご利用を頂くことはできますが、ハードディスク側のインタフェースコネクタ耐久性や接点の消耗、および本製品のインタフェースコネクタの接触不良の原因となりますので、頻りにハードディスクを交換してのご利用は推奨いたしません。
4. RAID-0、RAID-1、JBOD を構築後は、ハードディスクの取り付け位置を変更や、ハードディスクを他のハードディスクに入れ替えてのご利用はできません。これらの操作を行うと、元のハードディスク保存されたデータは利用できなくなります。
5. 本製品内のハードディスクへのアプリケーションのインストールは行わないようにして下さい。接続するポートを変更した場合や、他のドライブを増設した場合など、ドライブのパスが変わることがあります。
6. RAID-0、RAID-1、または JBOD を構築したハードディスクを本製品で使用しなくなった場合は、保存されているデータのバックアップを取った後、本製品を Normal (ノーマル) モードに設定し、「SYS RST」ボタンを5秒以上押し、ハードディスク情報をリセットしてからハードディスク取り外してください。
7. 特定のソフトウェア上で、本製品に搭載したハードディスクを使用できないことがあります。その場合は、パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

※ ソフトウェアの仕様、取り扱いについては、ソフトウェアメーカー(プリインストールソフトではパソコンメーカーの場合があります)にてご確認ください。

RAID スイッチについて



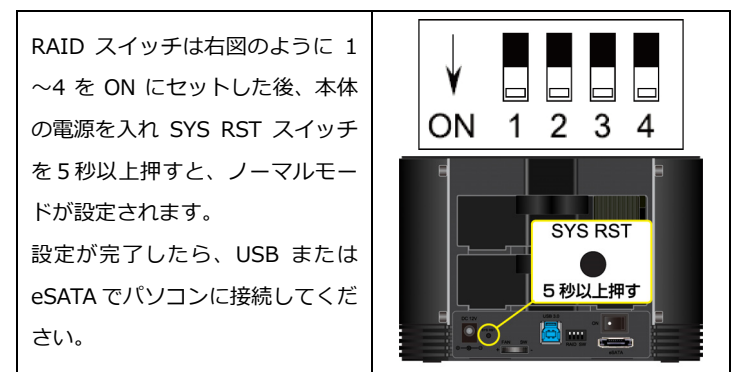
1. RAID スイッチの各モードは上記の4通りになります。上記のモード以外は、正しく機能することはできませんのでご注意ください。
2. RAID スイッチのモードを変更される場合、ハードディスク保存されて

いるデータはすべて消去されます。モードを変更される場合は、事前にハードディスクに保存されているデータは、本製品に搭載したハードディスク以外の場所へ保存してから、モードの変更を行ってください。

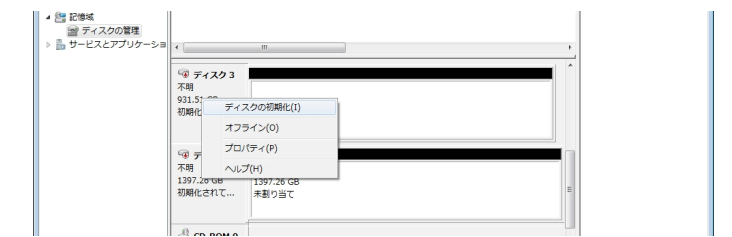
Normal(ノーマル)モード (個別認識)

ノーマルモードは、各ハードディスクを通常のハードディスクと同様に個別に利用するモードです。このモードはハードディスクを1台のみ搭載した状態でも、ご利用いただけます。

※ 本製品機器の障害等によるデータの損失、ハードディスクの障害等につきましては、保証いたしかねますので、予めご了承ください。



※ 取り付けたハードディスクが新品、または未フォーマットの場合は、ハードディスクの“初期化”の作業が必要となります。

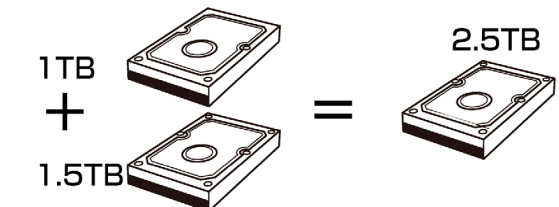


Windowsの「スタート」ボタンから「マイコンピュータ(コンピュータ)」を右クリックし、表示されるメニューより、「管理」を選択して「コンピュータの管理」画面を開き、左側のツリーの「ディスクの管理」よりハードディスクの初期化、およびフォーマットを行ってください。詳しくは、Windowsの「ヘルプ」、または、「セットアップガイド」の裏面「接続を確認する」に記載されている、弊社 WEB サイトを参照ください。

JBOD(コンバイン)モード

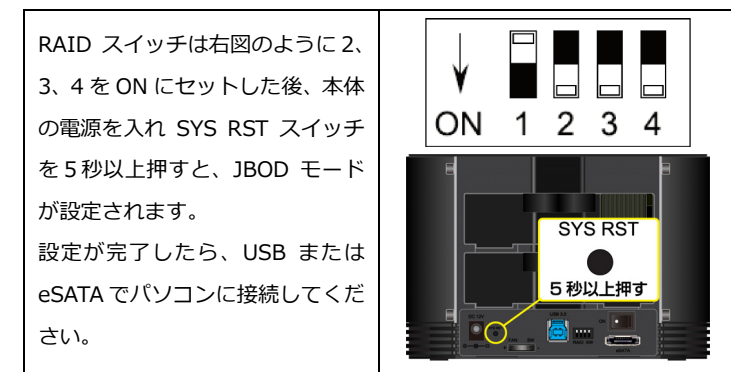
JBOD モードは、2台のハードディスクを結合することで、1つのドライブとして利用することが出来るモードです。ハードディスクの容量は、搭載した2台の合計容量となります。ただし、いずれかのハードディスクに障害が発生した場合はドライブ全体のデータが失われ、復旧することはできません。

例) 1TBと1.5TBのHDD2台で JBOD を構築した場合

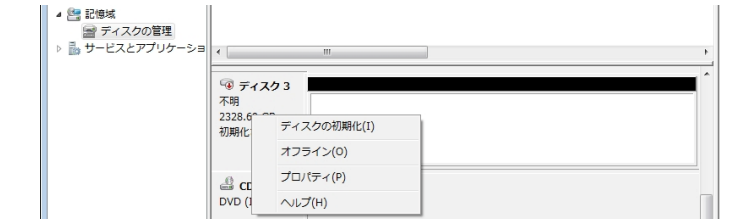


【注意事項】

- ※ このモードを使用する場合は、2台のハードディスクの搭載してください。
- ※ 「ディスクの管理」画面で認識されるディスクの数は1台となります。
- ※ 本製品本体による異常が発生し、修理、交換等を行った場合、再構築(復旧)ができないことがありますので、データのバックアップは必ず定期的に行っていただきますようお願いいたします。なお、本製品機器の障害等によるデータの損失、ハードディスクの障害等につきましては、保証いたしかねますので、予めご了承ください。



※ JBOD モードを構築した場合、ハードディスクの初期化およびフォーマットが必要になります。



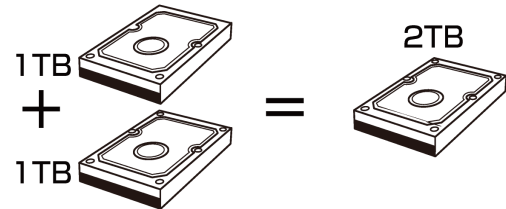
Windowsの「スタート」ボタンから「マイコンピュータ(コンピュータ)」を右クリックし、表示されるメニューより、「管理」を選択して「コンピュータの管理」画面を開き、左側のツリーの「ディスクの管理」よりハードディスクの初期化、およびフォーマットを行ってください。詳しくは、Windowsの「ヘルプ」、または、「セットアップガイド」の裏面「接続を確認する」に記載されている、弊社 WEB サイトを参照ください。

RAID-0(ストライピング)モード

「RAID-0」はストライピングと呼ばれ、2台のハードディスクに対し、均等に分散したデータを同時並列的に読み書きすることで、データ転送速度の高速化と大容量化を実現するシステムです。

ただし、エラー回避のための冗長データを生成しないため、「RAID-0 (ストライプ)」は耐障害性が低く、いずれかのハードディスクに障害が発生した場合はドライブ全体のデータが失われ、復旧することはできません。

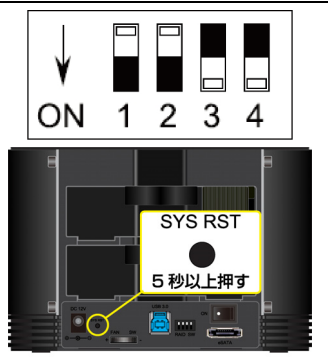
例) 1TBのHDD2台で RAID-0 を構築した場合



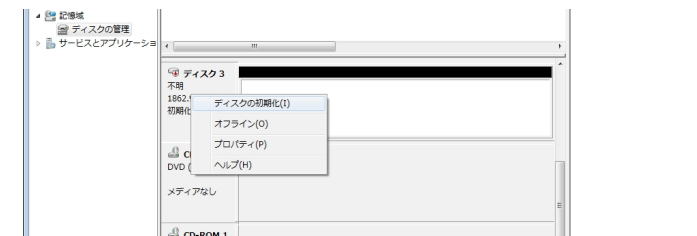
【注意事項】

- ※ このモードを使用する場合は、2台のハードディスクの搭載してください。
- ※ 「ディスクの管理」画面で認識されるディスクの数は1台となります。
- ※ 容量の異なるハードディスクを使用した場合、ドライブの容量はその合計容量にはなりません。
- ※ 本製品本体による異常が発生し、修理、交換等を行った場合、再構築(復旧)ができないことがありますので、データのバックアップは必ず定期的に行っていただきますようお願いいたします。なお、本製品機器の障害等によるデータの損失、ハードディスクの障害等につきましては、保証いたしかねますので、予めご了承ください。

RAID スイッチは右図のように3、4をONにセットした後、本体の電源を入れSYS RSTスイッチを5秒以上押し、RAID-0モードが設定されます。
設定が完了したら、USB または eSATA でパソコンに接続してください。



- ※ RAID-0 を構築した場合、ハードディスクの初期化およびフォーマットが必要になります。



Windowsの「スタート」ボタンから「マイコンピュータ(コンピュータ)」を右クリックし、表示されるメニューより、「管理」を選択して「コンピュータの管理」画面を開き、左側のツリーの「ディスクの管理」よりハードディスクの初期化、およびフォーマットを行ってください。

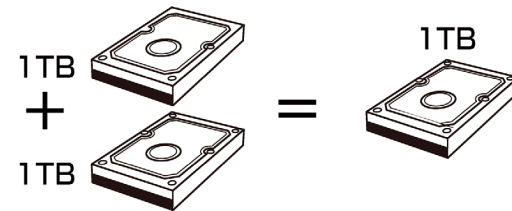
詳しくは、Windowsの「ヘルプ」、または、「セットアップガイド」の裏面「接続を確認する」に記載されている、弊社WEBサイトを参照ください。

RAID-1(ミラーリング)モード

RAID-1モードは、ミラーリングと呼ばれ、2台のハードディスクで構成されます。2台のディスクに同一のデータを記録することで、データに冗長性を持たせ、ディスクの耐障害性を向上させるシステムです。

ハードディスクの障害発生時には、同一のデータが記録されたディスクが代替として機能するため、高い信頼性を期待することができます。これによって、万が一、一方のハードディスクに障害が発生した場合、そのハードディスクのデータは利用できなくなりますが、システム自体は障害の影響を受けていない、ハードディスクを使用し動作を続けることができます。また、障害が発生したハードディスクを新しいものへ交換し、元の状態へ再構築することができるモードです。

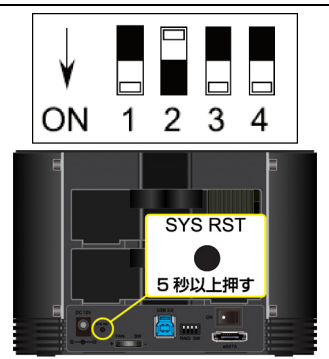
例) 1TBのHDD2台で RAID-1 を構築した場合



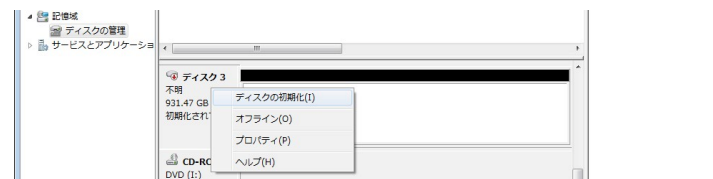
【注意事項】

- ※ このモードを使用する場合は、2台のハードディスクの搭載してください。
- ※ 2台のハードディスクを使用しますが、容量の異なるハードディスクを使用した場合、ドライブの容量は、容量の小さい方が割り当てられます。
- ※ 「ディスクの管理」画面で認識されるディスクの数は1台となります。
- ※ 本製品本体による異常が発生し、修理、交換等を行った場合、再構築(復旧)ができないことがありますので、データのバックアップは必ず定期的に行っていただきますようお願いいたします。なお、本製品機器の障害等によるデータの損失、ハードディスクの障害等につきましては、保証いたしかねますので、予めご了承ください。

RAID スイッチは右図のように2をONにセットした後、本体の電源を入れSYS RSTスイッチを5秒以上押し、RAID-1モードが設定されます。
設定が完了したら、USB または eSATA でパソコンに接続してください。



- ※ RAID-1 を構築した場合、ハードディスクの初期化およびフォーマットが必要になります。



Windowsの「スタート」ボタンから「マイコンピュータ(コンピュータ)」を右クリックし、表示されるメニューより、「管理」を選択して「コンピュ

ータの管理」画面を開き、左側のツリーの「ディスクの管理」よりハードディスクの初期化、およびフォーマットを行ってください。
詳しくは、Windowsの「ヘルプ」、または、「セットアップガイド」の裏面「接続を確認する」に記載されている、弊社WEBサイトを参照ください。

RAID-1(ミラーリング)モードの再構築(復旧)

RAID-1で構築された場合、構築したいいずれかのハードディスクに異常(故障、エラー等)が発生した場合は、故障したハードディスクを新しいハードディスクに交換し、再構築することができます。

【注意事項】

- ※ 1台のハードディスクに異常が発生しても残りのハードディスクで運用していますので、万が一異常が発生した場合でも、「警告」のメッセージはWindows上の画面には表示されません。
ハードディスクに異常が発生していないかの確認は、定期的に本製品のLEDの点灯状態、または書き込み中の点滅状態(書き込み中にHDD-1とHDD-2が同時に点滅しているか)や、ハードディスクに異音が発生していないかなどを確認するようにし判断を行ってください。
また、本製品の機器に搭載してあるHDDが認識しなくなった場合なども、ハードディスクに異常が発生している場合がありますので、その場合も、ハードディスクを点検するようにしてください。

- ※ 異常が発生したハードディスクは、すみやかに新しいハードディスクに交換してください。万が一もう一方のハードディスクに異常が発生した場合、再構築することができなくなります。

- ※ ハードディスクの組み合わせによっては、正しく再構築(復旧)ができない場合があります。再構築する場合は、極力同モデルのハードディスクをご利用いただく事を推奨いたします。

【復旧の手順】

- 用意するもの； 破損したハードディスクと同じ仕様(同じ型番)のハードディスク、または同容量、もしくはそれ以上の容量のハードディスクをご用意ください。
※同じ仕様(同じ型番)のハードディスクを推奨。

1. パソコンから切り離し、本体の電源を切ります。	
2. 異常が発生したハードディスクを取り出します。	
3. 正常に動作している方のハードディスクを上段(HDD-1)側に移動します。	

4. 故障したハードディスクを新しいハードディスクと交換し、下段(HDD-2)側に搭載します。	
5. 電源スイッチを入れます。	
6. USB または eSATA でパソコンに接続します。	
7. 自動的に復旧作業が開始されます。復旧作業が開始されると、HDD-1 および HDD-2 のLEDが点滅します	
8. 復旧作業が完了すると、HDD-1 および HDD-2 のLEDは点灯状態になります。 ※注) 復旧作業時間は、ハードディスクの容量によって異なりますが、数時間から～十数時間かかる場合があります。復旧作業が完了するまでの間は、パソコンの電源、および、本製品の電源は切らないようしてください。	